

## 成績評価における客観的な指標の算出方法

学則細則(教務内規)において GPA(Grade Point Average)を導入し、学内の成績評価として使用している。本学の就職の学内参考資料や学業成績優秀表彰者の決定等に活用している。

### (学則第 6 章第 21 条)

各受講科目について授業時間数の 3/2 以上を出席し、かつ成績評価が 60 点以上の場合を合格とし、合格科目に対して修了を認め所定の単位を与える。

(但し、面接科目及び、指定保育士科目(こども学科)は全ての授業時間出席しなければならない)

2 後期に休学、退学などの学籍異動が生じた学生で当該学年度の前期修了科目が前項の要件を備えていた場合には、学年末に当該科目の単位を与える。

### (学則第 6 章第 22 条)

履修した授業科目の成績は、原則学年度末に学生及び保護者宛通知する。

学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験)およびその他の成果によって総合的に決定されるが、定期試験における原則は 100 点を満点とし、90 点以上を S、80 点以上を A、70 点以上を B、60 点以上を C、60 点以下を D(不合格)と通知する。

客観的指標として GPA を算出している。GPA は、(S= 4 点、A=を 3 点、B=2 点、C=1 点、D= 0 点)として数値に置き換え、その合計を履修教科数で割り、学生の履修状況を算出する。

具体的な算出方法

(GPA) = 各科目の(単位数×評価ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数)

GPA の度数分布はホームページで公表している。